1999
2014
7／1

府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008　大阪市中央区大手前2-1-59
電話　06（6941）0351・内線3740
直通06（6941）3079 FAX06（6941）4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／有田　洋明　編集人／樋口　浩之
（一部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

大阪の自治体で働く
青年が大集合!!
大阪自治労連
新歓パーティー
７月26日（土）18時受付
道頓堀ホテル

おきプロNEXT

全国の自治体で働く青年1500人が大集合

平和・文化・海

沖縄をまるごと実感

自治労連結成25周年記念イベントとして、６月13日～15日の３日間、おきプロNEXTが開催され、府職労青年部から９名が参加しました。全国から１５００人を超える青年が沖縄の地へ集結しました。

１日目はマリンスポーツやダイビング、伝統文化など沖縄ならではの体験、２日目は平和や基地問題、沖縄の歴史などの学習や戦争体験談、現地の住民の話などを通じて学びました。３日目の自由行動では、沖縄の街にでかけたり、レンタカーで海に行ったりと、それぞれが沖縄を満喫しました。

３日間という短い時間でしたが、全国の人たちと交流し、平和や基地の問題を学び、多くのものを得ることができたとりくみになりました。（青年部長　中森　貴大）

参加者のこえ

☆いろんな職種の人と話せたり、基地問題のことを考えたり、すごく充実した３日間でした。名護市長さんの講演では、今まで気にも留めなかった沖縄の現状について知ることができ、あらためて考えるいい機会になりました。**（保健所支部　橋爪さん）**

☆47都道府県の青年が集まる機会というのは滅多にないのでとても貴重な体験をさせていただき、とても楽しかったです！沖縄の基地問題について現地の人の生の声を聞くことができ、いろいろと考える機会になりました。　**（保健所支部　佐藤さん）**

☆楽しむのはもちろんですが、平和や基地問題もしっかり学習できたと思います。参加できて良かったです。
（保健所支部　中曽根さん）

☆一番印象に残ったのは、ツアー２日目の基地移設問題についての学習会でした。反対運動をされている方や名護市長・名護市職員の貴重なお話を聞けるだけでなく、移設候補地である辺野古海岸沿岸を自分の目で見ることで、あらためて基地移設問題について考えるきっかけになったと思います。今回の経験を今後に活かしていきたいです。
（府税支部　中村さん）

☆嘉手納基地を見ながら沖縄の方から話を聞くことができ、沖縄住民の長年の苦しみや怒りが強く伝わってきました。全国から1500名以上の若者が集まったときの熱気の大きさに感動しました。**（教委支部　安達さん）**

☆写真で目にする辺野古沿岸の環境がよりいっそう「美らむん」に見えました。移設候補地である辺野古の環境を体感することで聴講した住民や名護市長の話をマスではなくインタラクティブなメディアのように感じることができたのだと思います。また、青年部の活動が活発な組織の方から組織拡大や企画成功のための秘訣を教わるなど、交流はとても有意義でした。
（急性期・総合医療センター支部　森藤さん）

☆北海道から始まり沖縄の方までたくさんの方と話をしたり、セレモニーを見てたくさん笑いました。セレモニーでは全国のみんなで盛り上げていき、なんとなく気持ちが一つになっていた気がします。とても感動しました。本当に楽しかったです。
（急性期・総合医療センター支部　棚川さん）

遊歩道

雨の季節になりました。雨といってもいろんな雨があります▼雨の季節に雨が降らないと作物の収穫や水不足で困ります。降り過ぎると水害で大きな被害になることもあります。ほどほどに降ってくれるのが一番ですが、そんなに思いどおりになるものでもありません▼みなさんは洗車雨（せんしゃう）ってご存知でしょうか。旧暦７月６日に降る雨です。彦星が織姫に会うために、牛車を洗う水が雨になると言われています。きっとぴかぴかになるまで磨いたのでしょうね▼そして、旧暦７月７日に降る雨は酒涙雨（さいるいう）と言われています。これは雨のために会えなかったということではなく、年に一度しか会えない惜別の想いの涙だと言われています▼虎が雨（とらがあめ）は、旧暦５月28日に降る雨のことです。この日は、曽我兄弟が討たれた日で、この日に降る雨は、兄の曽我十郎祐成の恋人である虎御前が流す涙であると伝えられています▼いま、暴走を続ける安倍政権に対する国民の怒りは大きくなり、一致する要求での共同が広がっています。「雨だれ石を穿つ」日も近い。（H）